

ここに注目！大町オリエンテーション

今年の大町オリエンテーションの内容を、
参加した4名の生徒さんに教えてもらいました。

1. 集団生活で自立心up!

3泊4日の生活では、食事の配膳や2日目の飯盒炊爨等も生徒たちの手であります。



飯盒炊爨では、カレーをつくりました。僕は野菜を切る係で、タマネギには苦戦しましたが、みんなで協力すればおいしいカレーがつくれることを学びました。

伊藤康太郎さん

2. 絆を育むレクリエーション

レクリエーションとして、マシュマロタワーづくり、フリスピーカー、人間知恵の輪等、楽しみながら生徒同士のコミュニケーションを促す共同作業を随所に取り入れています。



乾燥パスタとマシュマロを組みあわせてつくるマシュマロタワーは難しかったです。ビルのような形ではなく、東京タワーみたいな形の方がよく立っていました。

矢野聖明さん

3. 伝統の校歌コンクール



班ごとに校歌を歌う校歌コンクール。先生方が審査し、優勝チームが選ばれます。3日の本番を目指して、生徒たちは合宿中の空き時間を使い自主練習にはげみます。

オリエンテーションで一番楽しかったのは校歌コンクールです。部屋でみんなで練習をしたり、時々練習中にふざけて笑ったり。本当に楽しかったです。

本田健翔さん

4. ICT活用 道祖神ウォーク



山莊から約7kmに位置する木崎湖近辺で、班別に道祖神を探す取り組み。今年は初めてi Padを導入。i Padを活用して見つけた道祖神を撮影する等、ICT教育に熱心な城北しさが見られます。

僕の班はi Padの調子が悪かったり、道に迷ったりトラブルがあったのですが、友達と一緒に楽しめたので、大きだったことも含めて印象に残った思い出になりました。

西澤悠人さん

明日に伸びる！この1校

城北中学校・高等学校

東京
男子校

城北の「第二の入学式」
大町オリエンテーションの魅力



城北中学校・高等学校（以下、城北）では、毎年、春の入学後間もない時期に、中1と高1の新入生を対象に大町オリエンテーションを実施しています。

長野県大町市にある大町山莊で3泊4日を過ごす宿泊行事であり、城北にとって「第二の入学式」とも言われています。行事の内容について坂内浩之先生にお話を伺いました。

「オリエンテーションは4月～5月にかけて、2クラスずつに分かれて実施します。身体を動かす集団行動やレクリエーション、校歌コンクール、木崎湖近辺で実施する道祖神ウォーク、飯盒炊爨等、様々なプログラムを用意しています。

入学して間もない時期に実施されるので、参加する前は生徒たちもまだお互いのことよく知らない

「みんなでひとつにまとまって乗り越えていく経験は、大学受験でも役立ちます。受験は個々で結果が出ますが、まとまりが強いクラスはお互いに切磋琢磨しあい、納得した結果を残すことが多いと感じます。また、中高での友人は今後の人生でも大切な存在になります。友情を培う第一歩としても重要な行事だと感じます」（坂内先生）



城北中学校・高等学校

◆住所

東京都板橋区東新町2-28-1

◆アクセス

東武東上線「上板橋駅」徒歩10分、地下鉄有楽町線・副都心線「小竹向原駅」徒歩20分

◆TEL

03-3956-3157(代)

◆URL

<https://www.johoku.ac.jp/>

学校説明会(要予約)

7月13日(金)18:00*
10月6日(土)13:30
2月23日(土)13:30☆
*校舎案内はありません
☆4・5年生対象

体育祭

9月8日(土)8:30

入試説明会(要予約)

11月23日(金祝)10:00
12月1日(土)13:30
両日とも同じ内容です
体験授業(要予約)
10月20日(土)13:00
クラブ公開(要予約)
10月27日(土)13:00

い状態です。このオリエンテーションをおしてそれぞれのよさを見つけ、絆を深めてほしいと感じます。また、食事の配膳や部屋の片づけ等は生徒たちでやるので、中学生としての自立心も育まれます」坂内先生

オリエンテーションに参加した感想を代表委員の矢野聖明さんは

「みんなと親ぼくが深まると感じます。特に校歌コンクールは、班のメンバーとたくさん練習したことで仲良くなれて、その結果、力を出せて優勝できたので、とても印象に残っています」と話されました。

班のメンバーとたくさん練習したことで仲良くなれて、その結果、力を出せて優勝できたので、とても印象に残っています」と話されました。

「みんなでひとつにまとまって乗り越えていく経験は、大学受験でも役立ちます。受験は個々で結果が出ますが、まとまりが強いクラスはお互いに切磋琢磨しあい、納得した結果を残すことが多いと感じます。また、中高での友人は今後の人生でも大切な存在になります。友情を培う第一歩としても重要な行事だと感じます」（坂内先生）